



市長モリテツの
ほっとトーク

August 2022

三田の子どもたちは 今

— そして これから —

三田市長 森 哲男

6月23日、市内の狭間はさま小学校を訪ねました。3年ぶりの学校訪問です。市長就任以来、毎年楽しみの行事でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていました。コロナ禍で、子どもたちはどうしているだろうか心配していましたが、元気な挨拶や満面の笑顔でそんな心配も吹っ飛びました。教室では導入したタブレットを、子どもたちがゲーム感覚で楽しみながら使いこなす姿を見て、いわゆる※Z世代と言われる子どもたちが、近未来のデジタル社会を創り上げていくのかと感じました。授業では、先生方が一生懸命に、黒板での板書とデジタル機器を交互に使用して教えているのが印象的でした。

今年の夏休みは、ふれあいプールが再開され、三田まつりやいくつかの地域で夏祭りが行われます。コロナ禍が続いていますが、感染防止対策と経済活動等の両立を目指す中で、子どもたちには、ぜひたくさん心に残る「夏休みの思い出」をつくってほしいものです。

一方、この2年余りのコロナ禍で、多くの子育て家庭が経済的に困難な状況に陥りました。子どもの学習環境や生活環境も

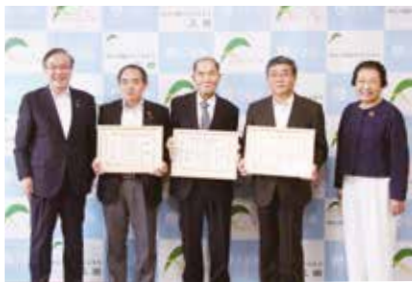
大きく変化せざるをえず、今後子どもたちの成長に及ぼす影響を危惧するところです。こうしたことから、この度、「三田市子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査」を、市立学校の小学5・6年生の児童と中学生全学年の生徒とその保護者を対象に行うことにしました。昨今、社会問題となっているヤングケアラーの問題も含め、子どもたちや子育て家庭がおかれている実情と課題をしっかりと把握し、今後の子育て施策や教育施策に活かしていきます。

今、三田では、市内各地に子ども食堂（地域食堂）が整備され、地域の支援により、子どもだけでなく高齢者など「多世代が集う場づくり」が進められています。また、地域の協力により少しずつ「こうみん未来塾」の活動が広がり、科学技術に親しむ子どもが増えてきています。こうした地域の方々に支えられたさまざまな活動をさらに充実していく必要があります。

そして、誰一人取り残されることのない「三田の子どもたちそれぞれの未来」を、保護者や学校関係者のもとより地域の方々とともに支援していきたいと思えます。

※Z世代・・・幼い頃からスマートフォンなどのデジタル機器に囲まれて育った世代

Mayor's Photo Diary



6月22日 永きにわたって区長・自治会長として地域に貢献された皆さんに感謝状を贈呈



6月23日 狭間はさま小学校の授業を参観。平成19年度から取り組む国際理解・外国語教育の研究を視察



7月1日 「三田市民の警察官賞」を三田署の清水巡査部長（写真中央）・松井巡査長（中央右）に贈る